

新宮山彦ぐるーぷ第2218回

持経宿・平治宿の巡回整備

◇実施日 1月17日(火)

晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄

2名

一月も15日を過ぎたので、持経宿と平治宿の各小屋やお堂に置いたお正月飾りを片付けに向かった。

5日に持経宿に行った際には、林道も奥駈道にも積雪があったが、2日前に雨が降ったためか雪は全く残っていなかった。

池郷林道ゲートを越えると落石が増えだして、5〜6回車を降りて石を除けた。それでも池原から持経宿までは1時間ほどで、夏場とあまり変わらない時間で着いた。

携帯電話充電器の料金箱と照明スイッチの表示板を取り付けて平治宿に向かった。



平治宿の水場



ホースの水は少ない



注連飾りを回収

雪が全くないので足元を心配せずに歩くことが出来、55分ほどで平治宿に到着、先に水場の確認に向かった。

5日には厚い氷に覆われていた貯水槽は、氷が解けてグレーチング蓋がむき出しになっていた。水流は殆ど無く、深仙宿の香水の様な状態だった。蓋の上の落ち葉を掃除して小屋に戻った。

12時過ぎに小屋に戻って昼食を摂る。日差しがあり風も殆ど無いので、小屋前のテーブルで食事した。

しめ飾りと鏡餅を片付け、電球の無い懐中電灯などの不用品を持って持経宿に向かった。途中の千年桧お堂で注連飾りなどを回収し、行きと同じく1時間ほどで持経宿に帰り着いた。



充電器の料金箱取り付け

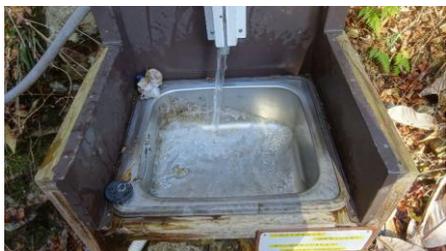


平治宿に向かう



雪の無い奥駈道

荷物を置いて水場の確認に向かう。水場の手前50m位から水音が聞こえた。水場の沢は一面に水が流れていた。雪も殆ど消えているのに、この水はいったいどこから湧き出しているのか。平治宿の水場を見てきた後だけに、大変不思議な感じがした。



転法輪岳

千年松お堂で

持経宿の水場

ホースの取水口と継ぎ目を清掃、ホース先端からの水流は水道の蛇口を一杯に開けた時のようになった。小屋に戻ってお堂と小屋のお正月飾りを回収、玄関前を掃除し発電機を満タンにして下山した。

(記：梶野)



持経宿でも回収



本日の参加者



予定終了し下山

行動タイム

下北山スポーツ公園 09:25→10:20 持経宿 10:40→11:15 中又尾
根分岐→11:32 平治宿→11:44 水場 11:54→12:11 平治宿 12:
32→13:33 持経宿 14:25→15:20 下北山スポーツ公園